

東海市横断歩道橋長寿命化修繕計画

【 目 次 】

| | | |
|---|--------------|---|
| 1 | 計画の目的 | 2 |
| 2 | 計画の対象施設 | 4 |
| 3 | 施設の状態等 | 6 |
| 4 | 対策の考え方及び実施時期 | 7 |
| 5 | 今後の取り組み | 8 |

平成 28 年（2016 年）3 月策定

令和 4 年（2022 年）3 月更新

東海市 都市建設部 土木課

1.計画の目的

(1) 背景と目的

ア 背景

国は、平成 25 年 11 月にインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において「インフラ長寿命化基本計画」を取りまとめ、インフラ施設の長寿命化に関する基本方針を示しています。これに基づいて、国土交通省は、あらゆるインフラの維持管理や更新等を着実に推進する中長期的な取組の方向性を明らかにするため、平成 26 年 5 月に「国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)」を取りまとめました。

また、愛知県においては、上記の基本計画等に基づいて、平成 27 年 3 月に「愛知県公共施設等総合管理計画」を策定し、道路部門においても、施設類型ごとの長寿命化計画(個別施設計画)として、同年 3 月に「道路構造物長寿命化計画」を策定し、対策の優先順位の考え方や 5 年間の点検・修繕などの年次計画を示しています。

このような背景のなか、東海市においても、市民が安心して、既存のインフラ施設を利用し続けることができるよう、各々の施設の特徴を踏まえた適切な点検による現状確認と修繕が不可欠であるとの考えに基づいて、長寿命化計画を策定(改定)し、推進しています。

イ 目的

上記の背景のもと、東海市の管理する横断歩道橋は、図 1 に示すとおり、供用年数が 50 年以上経過した横断歩道橋は、全体の約 38%を占めており、10 年後には約 75%になるなど老朽化が一層進むと想定しています。そのため、老朽化による修繕費用も膨大となることから、計画的な維持管理を行い、長寿命化を図る必要があります。

本計画では、地域性や経済性など本市の実情に見合う施設の長寿命化を図り、将来にわたって適切な維持管理ができるよう、補修・更新の費用の縮減・平準化を図りつつ、市民の安心・安全の確保や財産を守ることを目的とします。

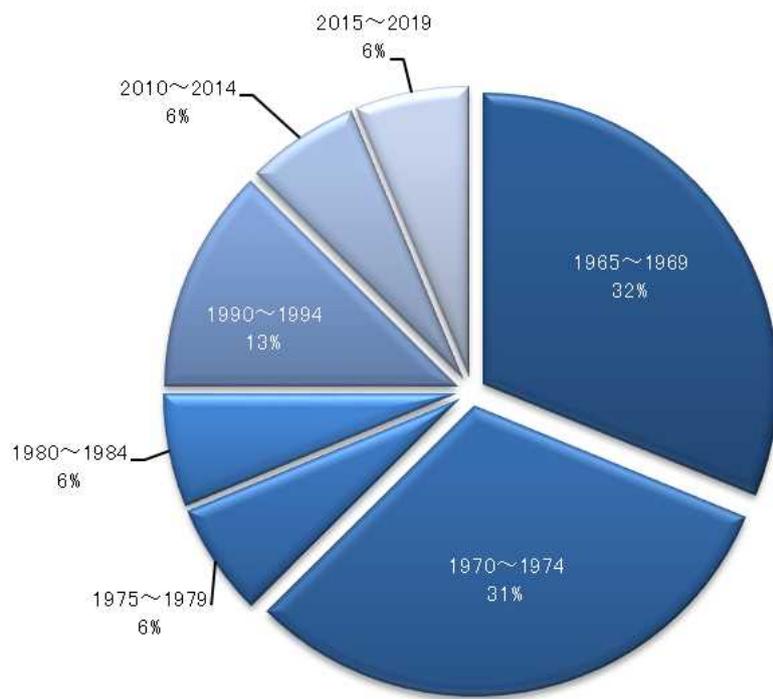
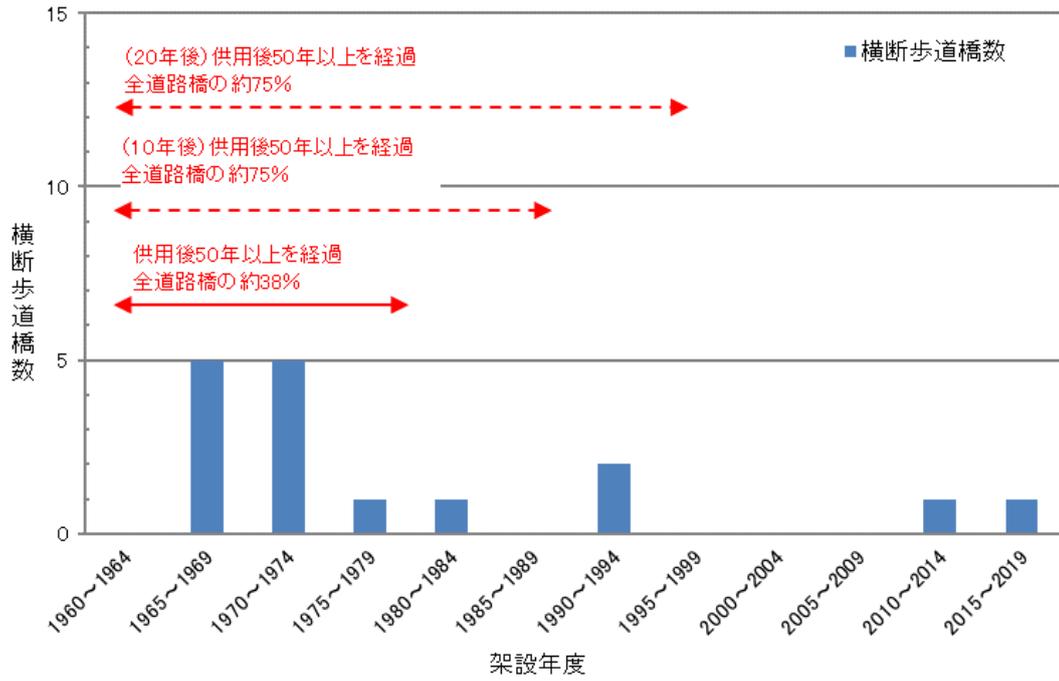


図1 横断歩道橋の架設年度と経過年数の状況

2.計画の対象施設

東海市では、横断歩道橋16橋を管理しています。一覧表および位置図を以下に示します。

表1 管理施設一覧表

| No | 施設名 | 路線名 (市道名) | 交差する施設 | 所在地 | 架設年度 | 橋長 (m) | 全幅員 (m) | 昇降 部数 | 橋種 | 備考 |
|----|---------------|--------------|--------|-------|---------------|-----------|------------|----------|----|--------------------|
| 1 | 名和駅北歩道橋 | 名和駅南北線 | 国道247号 | 名和町 | S55 (1980) | 34.0 | 2.5 | 2 | 鋼 | |
| 2 | 記念碑前横断歩道橋 | 名和加木屋線 | 同左 | 名和町 | S44 (1969) | 17.5 | 1.9 | 2 | 鋼 | H23(2011) 県から移管 |
| 3 | 石塚横断歩道橋 | 名和加木屋線 | 同左 | 名和町 | S44 (1969) | 15.1 | 1.9 | 2 | 鋼 | H23(2011) 県から移管 |
| 4 | 荒尾横断歩道橋 | 名和加木屋線 | 同左 | 荒尾町 | S43 (1968) | 14.5 | 1.9 | 2 | 鋼 | H23(2011) 県から移管 |
| 5 | 平洲横断歩道橋 | 名和加木屋線 | 同左 | 荒尾町 | S42 (1967) | 18.0 | 1.9 | 2 | 鋼 | H23(2011) 県から移管 |
| 6 | 加家歩道橋 (北) | 大池北線 | 東海3号線 | 東海町 | S48 (1973) | 20.1 | 2.4 | 2 | 鋼 | |
| 7 | 加家歩道橋 (南) | 大池北線 | 東海3号線 | 東海町 | S48 (1973) | 39.9 | 2.4 | 1 | 鋼 | |
| 8 | メルヘンブリッジ | 大池北線 | 同左 | 中央町 | H6 (1994) | 80.0 | 4.9 | 4 | 鋼 | |
| 9 | 宮川横断歩道橋 | 大池北線 | 同左 | 荒尾町 | S45 (1970) | 16.7 | 1.9 | 2 | 鋼 | |
| 10 | 明倫歩道橋 | 大池北線 | 同左 | 富木島町 | S54 (1979) | 39.3 | 2.7 | 3 | 鋼 | |
| 11 | ウェーブブリッジ | 名和養父線 | 同左 | 中央町 | H5 (1993) | 78.8 | 3.6 | 4 | 鋼 | |
| 12 | 上野台歩道橋 | 上野台本通り線 | 同左 | 富木島町 | S48 (1973) | 14.8 | 1.9 | 2 | 鋼 | |
| 13 | 富木島小前歩道橋 | 上野台本通り線 | 同左 | 富木島町 | S47 (1972) | 14.0 | 1.9 | 2 | 鋼 | |
| 14 | 太田川駅東公共施設連絡通路 | 太田川駅前3号線 | 同左 | 大田町 | H23 (2011) | 30.0 | 3.1 | 1 | 鋼 | |
| 15 | 横須賀高校前横断歩道橋 | 横須賀加木屋線 | 同左 | 高横須賀町 | S44 (1969) | 13.7 | 1.9 | 2 | 鋼 | H14(2002) 県から移管 |
| 16 | 太田川駅西歩道橋 | 太田川駅前西歩道 | 国道247号 | 大田町 | H27 (2015) | 49.1 | 4.3 | 4 | 鋼 | エレベータ2基 |

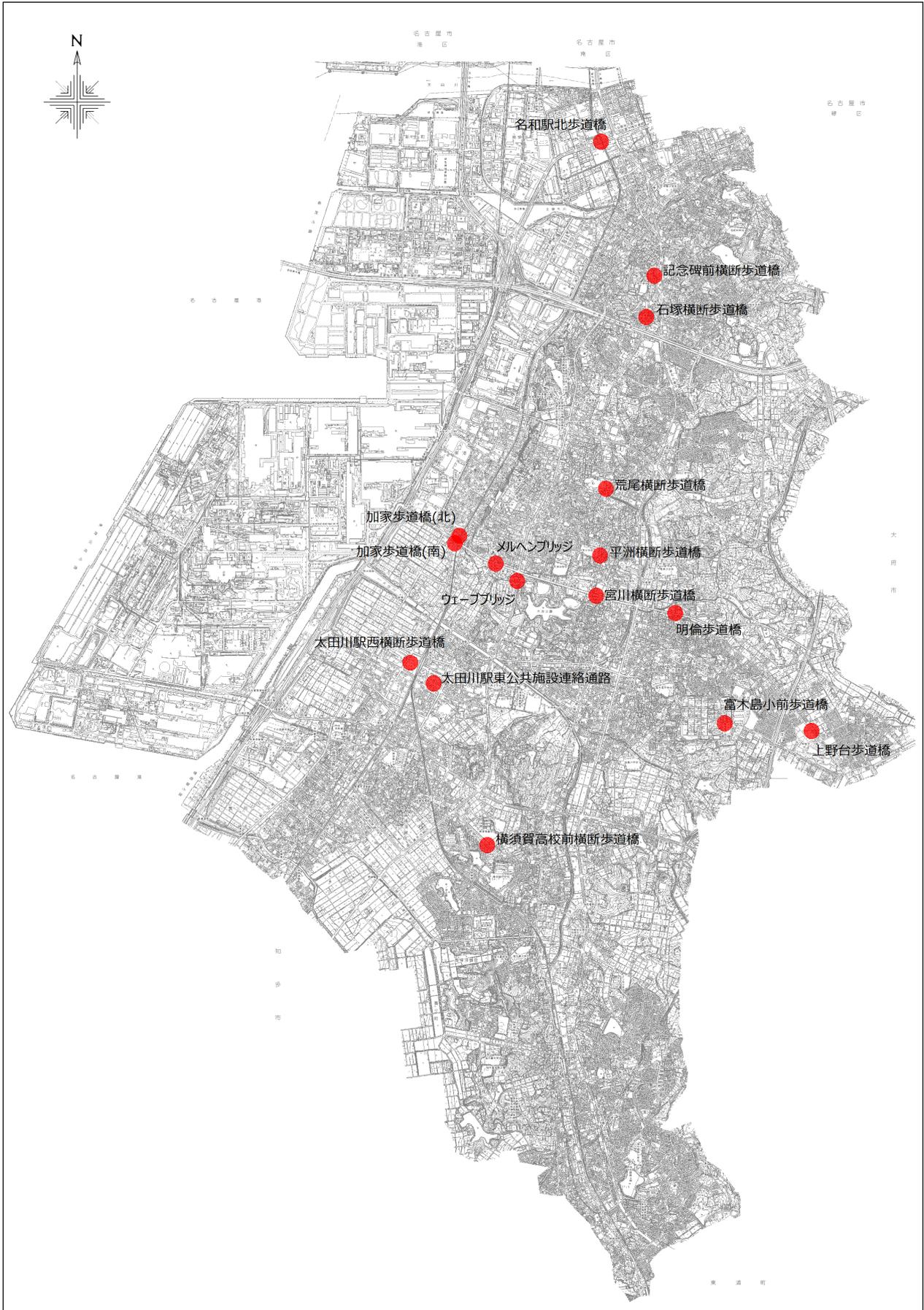


図2 位置図

3.施設の状態等

(1) 状態の把握方法

東海市では、日常的な巡視・定期点検・異常時点検を実施し、施設の状態を把握します。

定期点検は「横断歩道橋定期点検要領(国土交通省 道路局)」と「歩道橋定期点検要領(国土交通省道路局)」、「横断歩道橋点検要領案(愛知県建設局)」に順じて、5年に1度実施し、近接目視を基本とします。ただし、点検の効率化・高度化および費用縮減を図るため、近接目視を補完・代替する新技術に関して、積極的に活用を検討します。

(2) 施設の状態

東海市では、平成26年度より定期点検を随時進めています。

最新の点検結果では、緊急措置段階である健全度Ⅳと判定された歩道橋は確認されませんでした。早期措置段階である健全度Ⅲと判定された横断歩道橋2橋を確認しています。また、予防措置段階である健全度Ⅱと判定された横断歩道橋10橋を確認しています。

定期点検結果(令和3年度(2021年度))を以下に示します。

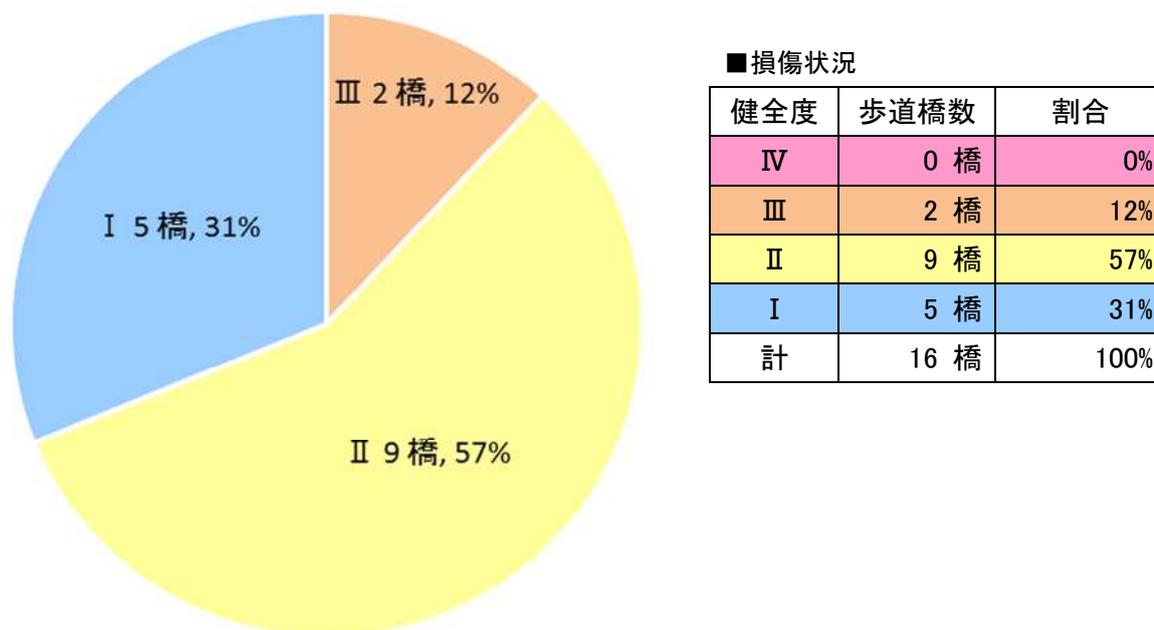


図3 定期点検の結果(全体)

(3) 施設の補修状況

東海市では、平成26年度(2014年度)以降で、補修段階(健全度Ⅳ・Ⅲ・Ⅱ)と判定された歩道橋は12橋あり、その内、補修した歩道橋は1橋で、接続する道路橋と同時施工で予防保全措置を取ったものです。

5 今後の取り組み

(1) 再配置計画

社会経済情勢や施設の利用状況等に応じた適正な配置を検討し、集約化・撤去、機能縮小をなどによる費用の縮減の検討をします。

(2) 管理区分の設定

管理橋梁の点検結果・修繕実績を蓄積し、中長期的な修繕や架替え等のライフサイクルコスト（LCC）分析により、管理区分を見直します。